

積水化学Gにおける事例紹介

積水化学工業株式会社
ESG経営推進部

(5分)



積水化学グループのESG経営とは



サステナブルな社会の実現に向けて、
LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造します。



事業ドメイン

SEKISUI

2030までに成長を加速させる事業ドメイン（Vision2030より）



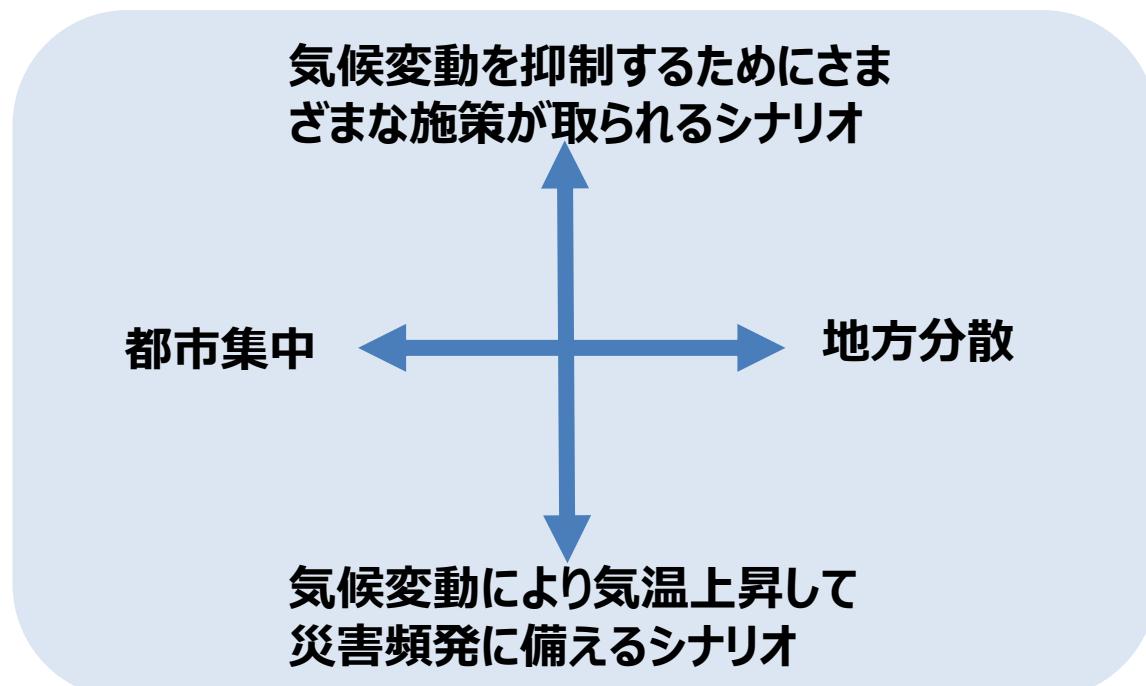
今後もコングロマリッドとして多様な事業を展開していく経営戦略
(4事業ドメイン+ ネクストフロンティア領域 (エネルギー分野))



4つの事業ドメインとネクストフロンティア領域（エネルギー分野）において将来に影響をおよぼすドライビングフォースを抽出



気候変動に加えて、影響度が大きいと想定される
ドライビングフォースに注目（地方分散と都市集中）





[TCFD]シナリオ分析の活用

SEKISUI

気候変動を抑制するため様々な施策が取られるシナリオ

(A)脱化石スマート社会



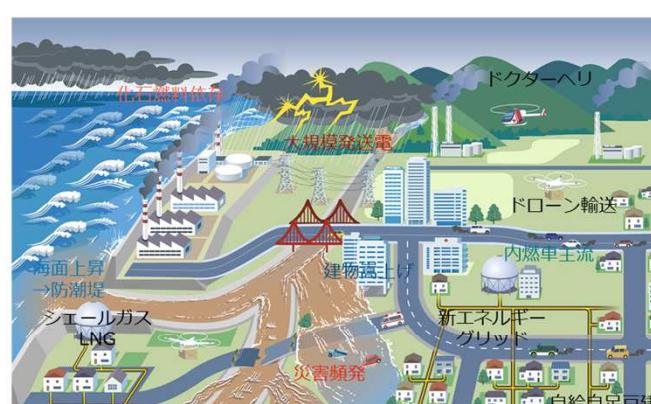
(B)循環持続社会



(D)大量消費社会



(C)地産地消社会



気候変動により気温上昇して災害頻発に備えるシナリオ

シナリオ分析によって、いずれの社会が実現した場合でも適応できるか経営・事業戦略を再確認

⇒ 特に4°Cシナリオを想定することによって、「気候変動の適応」としてリスク低減、チャンスとなる施策、ビジネス戦略ができていることを確認することができた



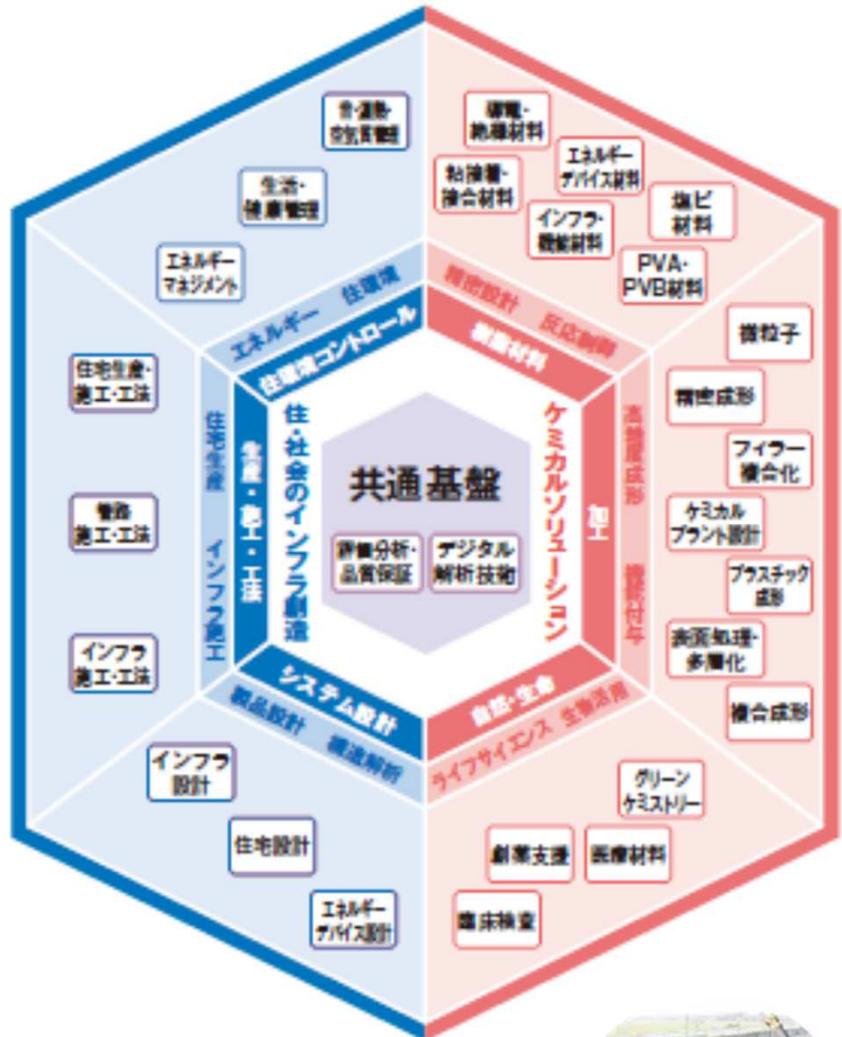
気候変動適応に資するビジネス

SEKISUI

コングロマリッド
としての強み

事業ドメインで
培った
28の技術
プラットフォーム

不確実な
未来において
相互補完的に作用



地上も地下も
レジリエントな
まちづくり



あさかリードタウン

ゲリラ豪雨対策



雨水貯留管
「エスロンRCP」



雨水貯留材
「クロスウェーブ」

世界にまた新しい世界を。

A new frontier, a new lifestyle.

SEKISUI